

教育 つるおか



2 0 2 3

令和5年3月1日

編集・発行／鶴岡市教育委員会事務局管理課
〒997-0346

山形県鶴岡市上山添字文栄100

電話 0235-57-4861

FAX 0235-57-4886

メールアドレス kkyouiku@city.tsuruoka.lg.jp

http://www.city.tsuruoka.lg.jp/

Tsuruoka Public Education Announcements Vol.18



新しくなった斎小学校体育館。児童の皆さん、地域の皆さんが使いやすい体育館になりました。



広くなったステージとアリーナ。
ステージの幕は、市内小中学校では初めてとなる「昇降式の緞帳」を採用しました。



スーパーオリンピック(児童会運動会)



全校集会・保健委員会での発表の様子

P2~3

- ・鶴岡型小中一貫教育の推進
- ・藤島地域教育振興会議の設置
- ・教育委員会委員の就任のあいさつ

P4

- ・酒井家庄内入部400年！
- ・各種スポーツイベント開催の紹介

P5

- ・親子で体験！「図書館ナイトツアー」
- ・地産地消「地場産りんごゼリー」を給食に

P6

- ・中央公民館・女性センターの事業紹介

斎小学校体育館改築事業

老朽化し危険な状態を解消するため、令和3年7月から改築工事を進めてきましたが、令和4年8月に工事が完了しました。

新体育館は床面積を拡張し利便性や収納力を向上させるとともに、床を高くして校舎との段差を解消、さらには底冷え対策を施すなど、避難所としての機能も考慮したものとなっています。

児童の皆さんの元気で明るい歓声や笑顔があふれる学校生活はもとより、地域の拠点としても大いに活用される施設となれば幸いです。

[基本概要] 鉄骨造・地上1階建・延床面積 838.25㎡

「鶴岡型小中一貫教育」を推進します 「学校教育課」

教育委員会では、令和7年度より、中学校ブロックごとに「鶴岡型小中一貫教育」を導入します。

「小中一貫教育」とは？

「小中一貫教育」とは、小学校と中学校が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成して系統的な教育を目指すものです。

平成18年に教育基本法が、平成19年に学校教育法が改正され、義務教育の目標と目的が新たに設定されました。また、近年は教育の量的・質的な充実、児童生徒の発達の早期化、小学校と中学校の違いによる「小中ギャップ」への対応が求められています。

平成26年12月に国の中央教育審議会が公表した「子どもの発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築について（答申）」では、小中一貫教育に取り組むことで、「授業の理解度の向上」や「学習に悩みを抱える児童生徒の減少」、「小中ギャップの緩和」や「自己肯定感の向上」といった様々な効果が挙げられています。

また、教職員にも「指導方法への改善意欲の向上」、「教科指導力・生

徒指導力の向上」、「小中学校間における授業観や評価観の差の縮小」などの効果が示されています。

これらは、本市が抱える課題と一致する部分が多く、有効であり必要な取り組みであると判断し、小中一貫教育を導入することとしました。

「鶴岡型小中一貫教育」とは？

本市では、これまでも小学校と中学校が、互いの情報交換や交流、授業研修などを通して、小学校から中学校への円滑な接続を目指す「小中連携教育」に取り組んできました。

しかし、目指す子ども像や教育課程を小学校・中学校がそれぞれ作成し編成していたため、系統的な教育としては不十分な状況でした。

そこで、これから取り組む「鶴岡型小中一貫教育」では、今までの小中連携教育で実践してきたことに加え、「目標」「教育課程」「活動」「家庭・地域」の4つのつながりを大切にし、小中学校の9年間を一貫した教育方針で子どもたちを育てます。

この「鶴岡型小中一貫教育」に取り組むことは、確かな学力や社会性の育成、魅力ある学校づくりにつながっていくと考えています。

「鶴岡型小中一貫教育」導入により期待されること・心配されること

「鶴岡型小中一貫教育」を導入することにより、次のような効果が期待されます。

- ①異学年の子どもたちの意図的な交流等により、児童生徒の心の安定が図られ、いじめや不登校が減少する。
- ②教職員の協働を実現する組織づくりや合同研修を実施することにより、教職員の意識や指導力が向上する。
- ③地域の良さを追究する「ふるさと学習」を9年間を通じて系統的に行うことにより、より深い郷土愛を醸成することができる。

さらに、小中一貫校を設置すれば、次のような効果が期待されます。

- ④柔軟な学年区分の設定（4・3・2制や5・4制）を実施することにより、小中ギャップが軽減する。
- ⑤中学校教員による小学校への計画的な乗り入れ授業を実施することにより、より質の高い授業を展開できる。

一方で、次のようなことが心配されます。

- ①小学生のリーダーシップを発揮する機会が少なくなり、自主性や積極性が育ちにくい。
- ②軌道に乗るまで会議や打ち合わせが増えることにより、教職員の負担が増える。

「鶴岡型小中一貫教育」の形態

「鶴岡型小中一貫教育」を行うには、次の3つの形態があります。

- ①現在の中学校ブロックでの一貫教育
…小中一貫校ではありません
- ②併設型小学校中学校：小中一貫校
それぞれの学校に校長がいる組織上独立した小学校・中学校が、義務教育学校に準じた形で一貫した教育を行う学校。
- ③義務教育学校：小中一貫校
1人の校長のもと、1つの教職員組織が一貫した教育課程を編成し実施する9年制の学校。

「鶴岡型小中一貫教育」は、中学校区ごとに①を基本に実施していきますが、小中一貫教育をより効果的に進めることができる②③についても、必要に応じて検討を進めます。

今後のスケジュール

- R4 市小中一貫教育基本計画検討
- R5 市小中一貫教育基本計画策定
(委員会による協議・策定)
- R6 中学校区ごとの具体計画検討
- R7 「鶴岡型小中一貫教育」開始



「藤島地域教育振興会議」について

【管理課】

教育委員会では、児童生徒数が減少している現状や、老朽化が進む学校施設の課題等を踏まえ、藤島地域の教育環境、教育振興の今後のあり方を検討するために、令和4年9月28日に「藤島地域教育振興会議」（以下、「振興会議」）を設置しました。

振興会議の役割

この振興会議では、自治振興会役員、児童生徒・未就学児の保護者代表、教育や地域活性化に専門的な知見を有する方18人を委員に選任し、令和4年度と令和5年度の2か年をかけて、計7回の会議を開き、様々な課題を検討していきます。

課題の中で大きなものは二つあります。一つは藤島地域の学校施設についてです。藤島中学校は築54年を迎え、市内で朝陽五小について2番目に古い学校となっています。また、隣接する藤島小学校は7番目に古く、同じように老朽化が進み、藤島地域の教育環境をどのように整備していくかが重要となっています。

もう一つは、令和7年度に全市で導入する「鶴岡型小中一貫教育」についてです。藤島地域では藤島中学校の改築等が喫緊の課題であり、地

域の実情に応じた小中一貫教育の形態を検討していく必要があります。

これまでの経過と今後の予定

今年度は3月中旬に開催予定の会議も含め、計4回の会議を開いてきました。

第1回会議では、藤島地域の児童生徒数の推移や学校施設の老朽化の状況、また、鶴岡型小中一貫教育について理解を深め、第2回会議では、先進事例として、酒田市の小中一貫教育、県内初の小中一貫校（義務教育学校）の新庄市立萩野学園の成果と課題について学びました。

第3回会議では、「藤島中改築に伴いどのような教育環境を実現したいか」をテーマに、学校施設のあり方や小中一貫教育の形態、想定される課題などについてグループ協議を通して多くの意見をいただきました。

今後、今年度の協議内容をまとめながら、藤島地域の子どもたちにとって望ましい教育環境のあり方を具体的に協議していきます。

また、必要に応じ保護者や地域の方々の意見を丁寧にお聞きしながら、小中一貫校の設置も含め、小中一貫教育の形態を検討していきます。

◆令和4年11月12日に、中村公俊氏が教育委員会委員に就任しました。中村委員より就任にあたってのあいさつを申し上げます。

心豊かに成長できる街づくり



委員 中村 公俊

鶴岡市に移り住んで20年になります。妻の羽黒の実家から見た月山の美しさは、今でもはつきりと印象に残っています。そして、産直やスーパーに並ぶ四季折々の食材が豊富なことや、何よりも夏なのに生で牡蠣を食べられるということに驚いたものでした。

子どもたちは鶴岡で生まれ市内の学校に通い、授業や学校生活の中で、地域の文化、歴史、風土を学んで育ってきました。

私の趣味は映画鑑賞で、移り住む2002年、ちょうど話題となっていた藤沢周平時代劇「たそがれ清兵衛」を鑑賞しました。他の映画同様、作品として満足した記憶があります。最近、再度観る機会があったのですが、今回はこの映画を、庄内弁やロケ地の羽黒町の農道、赤川の中州、湯田川温泉の風景を自分の街として感じながら観ていることに気がきました。この20年間で、学校教育を受けていた2人の子どもたちと一緒に、私も鶴岡市を学んできたのだと実感した次第です。

鶴岡市は、豊かな自然、ユネスコ食文化創造都市、歴史情緒あふれる街です。歯科医師として健康増進活動に取り組んできましたが、その経験を生かして、教育委員として教育目標である「ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人間の育成」を実現するために、誠心誠意尽力させていただきます。

酒井家庄内入部400年！

「社会教育課」

令和4年（2022）は、庄内藩主酒井家三代・酒井忠勝が元和8年（1622）に庄内に入部してから400年となる節目の年です。キャッチフレーズ「400年から学ぶ庄内 みんなでつなごう将来」のもと、今年度は様々な記念事業が展開されました。今回はその中から主な事業をいくつか紹介します。

記念式典および小・中学生歴史文化研究作品展

10月8日にメインイベントとして開催された記念式典では、歴史学者の本郷和人氏による講演や徳川宗家と徳川四天王の子孫による記念座談会が行われました。

また、同時開催として、小・中学生が取り組んだ地域の歴史や文化を研究した作品の展示や各学校での地域学習なども紹介しました。



記念座談会[荘銀タクト鶴岡大ホール]



歴史文化研究作品展
[荘銀タクト鶴岡小ホール]

小・中学校への出前講座



「酒井家とは？」「入部400年って何？」といった基本的な疑問から鶴ヶ岡城の豆知識や学校ごとの地域に残る歴史などに、少し詳しい内容まで子どもたちに分かりやすく解説しました。

『庄内の歴史ハンドブック』の作製

戦国時代、酒井家が庄内に入部する以前から、幕末・明治時代に至るまでの内容を中心にまとめたハンドブックを作製しました。図版を多く取り入れ、世代を問わず学べる副読本となっています。

鶴岡市内の小学5年生く中学3年生に紙版を配布するほか、各コミュニティセンターや庄内地方の各図書館等にも設置する予定です。

また、デジタル版を酒井家庄内入部400年記念事業の公式サイトで公開しています。ぜひご覧ください！



公式サイトは
コチラ

様々な世代の皆さんがスポーツを楽しんでいます
各種スポーツイベント開催の紹介「スポーツ課」

子ども夢スポーツフェスティバル in 鶴岡2022 SOMPOボールゲームフェスタ 2022 in 鶴岡

10月23日、5年ぶりに開催し、200人を超える参加者がバスケットやインやバブルサッカー、ボッチャ、キッズチャンバラなど、様々なニュースポーツを体験しました。

また、今年度は一般社団法人日本トップリーグ連携機構が主催する「SOMPOボールゲームフェスタ」を同時開催し、園児から小学生を対象に、ボールを使った親子遊び体験や、元日本代表などのトップアスリートによる球技スポーツの体験指導プログラムが行われました。

参加した子どもたちは、普段あまり行っていないスポーツや遊びに触れながら、運動の楽しさを再認識していました。



SOMPOボールゲームフェスタ

ジャパンソフトバレーボール 鶴岡フェスティバル2022

11月5日・6日、「笑顔でつくる健康ウェーブ、輝け日本の中高年！」をスローガンに3年ぶりに開催しました。



全国のソフトバレーボール愛好者の皆さんをお迎えし、久しぶりの再会と新たな出会いを喜びながら真剣なプレーで交流しました。

つるおかスリーデューク2022

9月17日～19日にかけて3年ぶりに開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を山形県民に限定しましたが、多くの方々に鶴岡市の自然と文化を満喫していただきました。

皆さんも、ウォーキングやノルディック・ウォークを通して鶴岡の自然や文化に触れてみませんか。



大山上池・下池コース

親子で体験！「図書館ナイトツアー」

〔鶴岡市立図書館〕

前年度にたくさんのお申し込みをいただいた「子ども司書体験」をバージョンアップし、8月に「図書館ナイトツアー」を開催しました。図書館が閉館した後に、申し込みのあった小学生とご家族の皆さんで貸し切った開館です。

この日の夜は、子どもたちのための開館ですので、児童書も一般書もまた新聞も雑誌も、すべて読み放題です。そして、普段は一般の方は入ることのできない閉架書庫などのバックヤードを含め、「館内ツアー」と題して施設見学をし、その後カウンターに入って司書の仕事を体験しました。



司書体験をする子どもたち

子どもたちが司書に、お父さん、お母さんが利用者となり、「お待ちをいたしました。」「返却期限は：ありがとうございました。」と声をかけ、バーコードリーダーで上手に貸出処理を行っていました。

参加した子どもたちからは、「普段は入れない書庫に行けて、そして古い本のおいがして、本好きの僕にはたまらない時間でした。」「司書の仕事をもっと知りたいです。」「どうしたら司書になれるのですか。」「といった感想をいただきました。図書館や職業としての「司書」についても、さらに興味をもっていただく良い機会となりました。どうぞ、これからもご家族皆さんで図書館にお越しください。お待ちしております。



「榊引学校給食センター」 地産地消を推進 地場産「りんごゼリー」などを給食に

榊引地域は、鶴岡市のほぼ中央に位置し、霊峰月山と清流赤川に育まれた美しい自然と実り豊かな大地に恵まれ、米や野菜、果樹などが多く栽培されています。



二つ目は、あぐり会員が作った「干し柿」です。初めて食べたという子もいましたが、柿の甘みが凝縮されていて、とても美味しかったという声をいただきました。

いずれも子どもたちのために愛情込めて作られた逸品で、子どもたちからの評判も良く、これからも提供していく予定です。他にも「榊引農工連」で人気の赤かぶ漬けや、ぜんご漬けを和え物として提供しています。今後も榊引地域の地場産品や特産品を使った献立を数多く考案したいと考えています。

学校給食で地域の方々で作った地場産品を食べてもらうことで、子どもたちの健やかな成長を願うとともに、作る方たちへの感謝の気持ちや郷土愛が育まれるようにと考えています。

榊引地域は、鶴岡市のほぼ中央に位置し、霊峰月山と清流赤川に育まれた美しい自然と実り豊かな大地に恵まれ、米や野菜、果樹などが多く栽培されています。その豊かな環境の中で育まれた地場産食材を、より多く学校給食として提供するため、榊引学校給食センターでは、地元の農産物直売施設「産直あぐり」や「榊引農工連」、「JA」、 「県漁協」などと連携し、積極的に地産地消に取り組んでいます。今回は、果物を多数取り扱っている「産直あぐり」の加工品を取り入れた給食を二つ紹介します。



*りんごゼリー付き給食



*りんごゼリーと干し柿

中央公民館の 事業を紹介します

女性センター

開館40周年記念講演会

中央公民館に隣接する女性センターは、昭和57年に「鶴岡市働く婦人の家」として開館し、今年で40周年を迎えました。これを記念し、講師に昭和女子大学理事長・総長の坂東眞理子氏を迎え、講演会を開催しました。「Women Be Ambitious!」女性よ、大志をいだこう」と題した講演に380名が参加し、人生100年時代の女性の生き方について考えました。

講演の中から一部を紹介します。

◆無意識の思い込みからの解放

「女だから…」 「年だから…」 と知らないうちに思い込んでいる物の考え方（無意識の偏見）アンコンシャス・バイアス）に女性自身が気づくことが重要。とらわれてきた思い込みを自覚し、自分の良さを見つけ、新しいことにチャレンジしましょう。

◆50歳から新たなスタートを
人生100年時代の後半期は、有形資産（不動産や貯蓄）だけでなく、無形資産（健康、知識、学習する習慣、好奇心、ネットワークなど）も大切にしましょう。前半期の栄光や失敗を引きずらず、自分の好きなことや得意なところを活かして社会と関わりを持ちましょう。

◆高齢者の品格「かきくけい」
「私はこれでいいのだ」と現状に満足せず、品格をもちましょう。

「かんどう（感動）・かんしゃ（感謝）、きげん（機嫌）よく、くふう（工夫）、けんこう（健康）・こうけん（貢献）・こうりゅう（交流）」を心がけて。

人生後半3か条

1. 「親友」ではなく「新友」をつくるべし
2. 「ベスト」でなく「ベター」を目指すべし
3. 「きょうよう（今日の用事）」と「きょういく（今日行くところ）」を持つべし

坂東氏は「やればできる、やりましょう!」という力強いメッセージで講演を締めくくり、参加者は元氣と勇気をいただきました。

プラネタリウム

星空でホッと一息



今年度、初の試みとして「スペシャルプラネ」を2日間で計10回実施し、250名を超える方が観覧しました。

当日は、プラネタリウム観覧の他にもいろいろな姿に変身した当館プラネタリウムのマスコットキャラクター「ぴっか」を見つけた「ぴっかを探せ」や「フォトスポットコーナー」などを準備し、皆さんをお迎えしました。また、大人向けの番組では、久しぶりにミニ星空解説を復活し、大変好評でした。

11月の「熟睡プラ寝たりウム」は、日頃の疲れを癒すことを目的に、2日間計4回実施しました。音楽を聴きながら星空を眺め、快眠へと誘います。今年度は、さらに枕や毛布の持ち込みを可能としたため、「ゆったりとした時間を過ごせた」、「また、来年も来るね」との嬉しい声もありました。ヒーリング効果も期待される庄内地域唯一のプラネタリウムに、ぜひお越しください。

新しい出会い、学び、さあ始めよう 生涯学習講座

中央公民館では、「新たな出会いと学び」につながる多様な講座を開催しています。今年度にも実施した講座の中から一部を紹介します。



つるおか歴史散歩
～地図で歴史をたどる～



シニアのためのパソコン講座
～インターネットは手軽な参考書です～



セカンドライフも楽しみたいね。
楽しく学ぶ! 認知症予防講座



酒井家庄内入部400年記念講座
江戸時代の庄内の歴史



セルフリンパドレナージュ &
腸活でスッキリ!!



〈サークル共催講座〉
お居成りばやし・庄内はいや節

中央公民館
女性センター

☎ 25-1050
☎ 24-2340